

## 平成28年度第2回江南市地域公共交通会議 会議録

- 日 時 平成28年8月4日(木) 午後2時～午後4時3分
- 場 所 市役所 3階 第2委員会室
- 委 員 出席委員17名(磯部 友彦、桑原 良隆(代理:石屋 義道)、近藤 博之(代理:加藤 紀幸)、森 一浩、古田 寛、河村 富貴、坪内 三、古橋 靖弘、長屋 涼、向原 宏、山田 敏也、脇田 和美、村瀬 徳行、倉橋 義一、原 朋子、佐藤 和弥、武田 篤司)  
欠席委員1名(平野 富一)  
オブザーバー2名(名古屋鉄道株式会社鉄道事業本部西部支配人 水野 泰、大口町地域協働部長兼町民安全課長 鵜飼 嗣孝)
- 傍聴者数 11人
- 資料 1 江南市の現況について
- 資料 2 主要施設における公共交通の利用実態について
- 資料 3 福祉タクシー・大口町コミュニティバスの利用状況
- 資料 4 論点の確認について
- 資料5-1 利用者アンケートの調査方法について
- 資料5-2 利用者アンケート調査票
- 資料 6 江南市地域公共交通を語る会の開催について
- 追加資料 要望書(タウンバスを実現する会)

## ○会長あいさつ

会 長 皆様こんにちは。会長を仰せつかっております中部大学の磯部でございます。少しだけお話しさせていただきます。今回、2回目の会議でございます。いつもですと年に1回ぐらいやるだけですけど、今年はなぜたくさんやるかという、前回ご出席の方はご存じのように交通計画を作りたい、そのために準備をしたいというようなことで、後から説明ありますけれど、客観的なデータをとって、それに基づいて色々なことを判断していきたいということでございますので、皆様のご協力のもとにやっていきたいなと思っております。

なぜ交通計画をつくるのかという話なんですけど、なかなか難しく一言では言えないんですけど、交通って別に計画立てなくても、個人個人が勝手に動けば動けるんですね。勝手にやれってことで終わりなんです。だけど、車の場合ですと交通渋滞が起きてしまうことがあったりして、なかなか皆の行きたい方向性と実際の道路環境が食い違うことがある。そうしたら早めに将来どうなるかわかっていて、本当は将来のことはわからないですが、こうなるだろうと想定して道路をつくったりいろいろやっていく。公共交通も同じで、いきなり電車に乗りたいと言ってもすぐ電車は来ません。線路がなかったら走れません。どこに線路をつくるのか、これは大変な話なんです。道路も線路も同じ話なんですけど、連続した空間が無いとできないですね。飛び飛びというわけにはいかないの、連続した土地がいるということで結構大変なんです。

だから一度道路をつくったり、一度鉄道をつくった場合には、できるだけそこを無くさないようにしていきたいなど。無くしてしまうと二度とできません。そういう時代になってきたんですね。これからは道路とか鉄道が本当に必要なのか、また足りないのかということは色々なデータを集めてきちんと計画をしていかなきゃいけないということでもあります。

では、計画したからといってその通りになるかということなんです、実はね。これは難しいところです。私も大学で交通の勉強をして40年近くになるんですけど、30~40年前の将来計画が当たっているかと言われてたらなかなか難しいですね。外れたということは大きく言えないんですけど、ぴったり当たったとは言いきれません。当然、誤差がありますし、交通量が多くなるはずの道路が空いていたり、本当は空いてる道路が混んできたり、なかなか皆さんの生活と絡んでますのでね。皆さんの生活が変われば当然変わってしまいますので、なかなかぴったりと30年後のことを予測するということは難しいです。そこをうまく調整しながらやっていきたいということでもありますし、皆さんの交通する人の気持ちが変わってしまったら全然変わってしまうんですね。そうすると、色々な要素が入ってきますのでなかなかぴったりと行くわけではないんですけど、何が大事かという計画をつくる時の話です。これからつくっていくわけですけど、色々な人の考え方をもち寄って、同じような方向性でまとめていきたいということなんです。ですから道路は勝手に作りなさい、鉄道、バス、勝手に作りなさい、私の知ったことではない、という市民が決めてしま

ったら駄目でしょうね。逆に絶対バスがいる、鉄道がいると言っていたけど、実際できてしまったら予定と違ったものができてしまったと、こんなもの乗らないわとなってしまうのも変な話なんですね。どのように予定が狂ったのか、もっと議論してつくりなおして、微調整できるなら調整していかなければいけないということで、計画ができた段階ですべてが終わったわけじゃなくて、実現に向けて色々な調整、色々な意見を取りまとめてやっていかないと良いものはできません。そうなるとう終わりの無いものなんですね。常に見直していかなければいけない。そういう気持ちでこれから交通計画を皆さんつくって行って、つくった以上それがうまく実現できるように皆さんで協力し合ってやっていきたいなと思っております。しばらく私もこのまちにお付き合いさせていただくことにしますので、皆さんと一緒につくっていきたいと思います。よろしく願いいたします。

### ○報告事項

#### 江南市の公共交通の現状について

会 長 今回は報告事項から先に進めます。江南市の公共交通の現状について報告を受けたいと思いますので、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 資料1から資料4に基づき説明。

会 長 これは議決事項ではありませんから、これで良い悪いではなくて皆さんとして実態を知ってほしいということで報告に入ったわけでありまして。何かこの際ですけど何か皆さんの方で気が付いたところとかご意見、ご質問があれば受け付けますけれどもいかがでしょうか。

委 員 2、3点質問させていただきたいと思いますが、資料1の最後に載っております名鉄江南駅の一日乗車人数25,731人とありますが、これは1人の方が名古屋へ行って例えば戻って来たらこれは2人と計算するのでしょうか。

事務局 乗降客数になりますので、1人の方が行き帰りで2回というのを2人という形で数えてあります。

委 員 1人の方が1日4回利用したら4人ということになりますね、わかりました。それと大口町コミュニティバスの件ですけど、私はほとんど利用はしたことありませんけど、バロー行きとか江南駅行とか色々ありますけれど、これは1日4往復、午前2回とか午後2回とか時間帯によっても乗り降りされる方が変化すると思うんですけど、午前中の1回目は何人、2回目は何人という、そういった資料はなかなか出すのは難しいでしょうか。例えば午前中に多く乗って午後が少ないとか、そういうケースもあるのではないかとこの資料を見て思ったんですけど。

事務局 委員ご指摘の運行の関係ですけど、午前中が2便、午後が2便というようなことになっておりまして、時間帯ごとの集計というものも確かにございますが、今日は持ち合わせておりませんので。

委 員 今後出していただけるのでしょうか。

事務局 そう考えておりますがよろしいでしょうか。

委員 はい。それと大口町コミバスは市の負担はゼロなんですかね。いちおう年間予算が組んでありますか。

事務局 バス停が江南市内に4つございまして、1か所につき1か月1万円の金額を払っております。ということで1か所につき年間12万円、4か所で48万円という金額で動いているところです。

委員 48万円の市の負担があるということですか。

事務局 そうです。

委員 予算に見合うような乗降人数が今後見込まれる予定ですかね。

事務局 市としてはもちろんPRしておりますが、先ほどから申し上げてますように乗られる方、地域の方々のやはりニーズであったりとか、場所によって大きく変わってくると思いますので、今後も引き続きPRを市としては続けていこうと思っております。

委員 始まったのは何年からでしたか、これは。

事務局 平成21年からということです。

委員 平成21年からなら今、7年目。利用者数は徐々に増えている傾向でしょうか。

事務局 今、資料でお示ししておりますけれど、資料3でございましてね。資料3の3頁から6頁でわかります。

委員 あまり人数的には増えてないような感じだね。今後あまり増える予想もないんでしたら他の輸送法も検討していく、今会長が言われたように先5年、10年、20年とかいう江南市の交通に対しての考え方ということですから、今後それも一つ検討していく材料になるのではないかなと私は思いましたけれども。

会長 今、大事な指摘を受けましたので、例えば大口町さんのやつは、大口町さんがやっているという前提で、江南市さんも利用させて頂いているという、そういった形なんです。じゃあこれに積極的に大口町さんのバス計画に入ってくるのか。あくまでも大口町さんが主体にやられているやつをこちらのまちとしてはうまく活用していくのか、その立場も考えていくというのが大事な視点かなと思います。今後の検討の材料になると思いますのでよろしく願いいたします。

他いかがでしょうか。よろしければ次の議事へ行きたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

#### ○協議事項

利用者に対するアンケート調査方法について

会長 まず事務局より説明をお願いいたします。

事務局 資料5-1及び5-2に基づき説明。

会長 利用者アンケートというのは、実際に乗り物使っている人について調べるという話でございまして。この調査項目も資料1から4で色々な現状をご説明いただきましたけれども、それらも関連してくるという話でございまして

ので、先ほどの資料にも絡めてでも何かご意見ございましたらお願いいたします。

委員 まずこのアンケートなんですけれど、今回初めてなのか、それとも定期的に何年かごとにやってるかどうかをお聞きしたいと思います。

それとアンケートの目的がですね、満足度を調査して、今後の改善に向けた資料にしたいということは、現状の制度を維持する中で若干まずい点があったらこのアンケートによって調査する、それだけに使うのがアンケートの目的だと、将来的な公共交通の再編とか色々なものに使うんじゃないかなってですね、現行の今ある制度をですね、ある程度使いやすくするためだけのアンケートかどうかということ。

もう一つですね、こういった利用者のアンケートをやった場合ですね、利用者の中だけなんです。本来この制度を利用しようと思ったらですね、利用できない人をいかに利用させるかっていうのが目的が一番大きなところとしてあるんですけれども、その部分で利用してない人に対してなぜ利用できないかというアンケートを合わせてやればですね、より色々なものが見えてくると思うんです。その3点についてどうお考えか教えていただきたいと思います。

事務局 1点目につきましては、今回が初めてということでございます。

2点目につきましては、アンケートを行ったうえで、やはり公共交通のあり方、考え方等々、どんな意見が出てくるかわからないものですから、次の会議の中では当然ご紹介させていただきましますけれども、いま仰られたことも含めまして江南市の公共交通のあり方について、全般についてアンケートを行うということで考えております。

最後、利用しない人というご意見もございましたけれども、前回の第1回目の時に少しお話しましたが、平成25年度につきまして広くアンケートをとったという経緯がございますものですから、今回は時間的な都合等々もございましてできませんけれども、25年度のアンケートにつきましても状況に応じては使っていくことになるものと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

委員 現在、利用している人というのはある程度使い勝手が良いから利用しているのであって、そういう人たちにアンケートをとって将来の公共交通の再編云々というのはちょっと合わないような感じがするんですけれども、むしろ使っていない人は不便だから将来の公共交通はこういうふうに変えたいというところはわかるんですけれども、このアンケートをそのように結びつけるのはおかしな部分があるんじゃないかと。今利用している人がより使い勝手が良いような形にするためのアンケートだったらわかるんですけれども、これを今言ったような将来的な公共交通の再編に使うというのは無理があると。しかもですね、公共交通の再編というのは都市づくり、まちづくりと合わせて考えるというのがいちばん基本だと思いますので、こうしたアンケートだけでそういったものに結びつけるのは難しいということを見ると、アンケートの意味というのがそれほどあるのかなと正直思うんですけれども、いかがでしょうか。

事務局 後半の部分につきましては後ほど意見交換会の説明もしますものですが、意見交換会の中で補完する部分もあるとは思いますが、冒頭申し上げましたように今回利用者に初めてアンケートをとるということでご理解いただきたいなど、利用者についてももちろん改善策等々もあるのかもしれませんが、利用者に向けての市としての初めてのアンケートということでご理解いただきたいと思っております。

会 長 資料4と絡んでくる議論になってきたところですね。資料4で論点の確認という所で前の調査に基づいて何を考えるべきかというのがあって、ある程度は出ていると、例えば資料4の6頁とかですね。ですからもちろんそれを深くやる手もあるでしょうし、今の足りないところで利用者とやったんですけれども。

事務局 利用されていない方のご意見についてですが、実は平成25年時点でバスを全く利用しない人がなぜ利用しないのかといったようなことも実はお伺いしております。前回の会議の時にご報告させていただいているのですが、自分で車を運転できるからといったご意見等を伺っております。そうしたサービス内容の改善等については平成25年でやっているのですが、今回また改めてやる必要性が本当にあるのかということがあって、もう一度市民の方にお伺いするという事は設定しないという整理をしています。ただ、そうは言っても平成25年時点だということなので、新しい情報を聞かないといけないんじゃないかというご指摘があるはずですから、その点につきましては協議事項の二つ目にあります、この後行います地域公共交通を語る会、意見交換会で具体的にご意見を聞いて回るということもやりますので、平成25年以降、何らかの変わったことがないかということも別途、公共交通を語る会で具体的にお伺いすることで対応したいと考えております。

会 長 前回、平成25年にどういう調査をやったという話をご報告させていただいたという経緯があって、それを活用しながら今年度足りないところを補って、2番目の議題にある地域の方を集めて意見交換をして色々な話を深めていこうという全体の調査計画になっているということでもあります。

委 員 そうすると、あくまでもアンケート調査は今、利用されている方をもう少し利用しやすくするためのアンケートであって、バス停を増やすとかルートを変更するとかのためのアンケートなのですか。

事務局 今回の利用されている方々が不満に思うこと、改善点を考えるためのチェックとしてこの利用者アンケートを用いて対応したいと思っております。先ほどこの利用者アンケートについては過去江南市ではやってきたことがありませんので、全くないデータとして新しく利用者についてのご意見をいただきたいというのが今回のこの調査になります。繰り返しますが、江南市民全体で利用されていない方も含めての市民全体のご意見については平成25年時点の調査で対応できるのではないかとということで、そちらの部分については前回の会議の資料4で既にご報告をさせていただいております。

委 員 それで資料4を拝見すると、江南市は既に公共交通の空白地帯はございま

- せんということでしたら、改めて抜本的な公共交通の体系を変える必要はないと、この中でマイナーチェンジというか色々なものを若干変更しながら江南市の公共交通を考えていくんだということによろしいでしょうか。
- 会 長 どうでしょうか、その辺の考え方。現時点での一つの前提ですよね、市としてはどう考えているか。実際にみなさんといろいろ話し合っていていくんですけれども。大きく市の方向性としたら今の委員がご発言なされたような方向性によろしいかどうかということなんですけれども。
- 事務局 全体ということになりますと、やはりこういった会議の中であったり、このアンケートであったりとか、意見交換会の中で、そういった考え方をまとめていくうえで、これら意見を一つの指標と考えて、整理したいと考えておりますのでよろしく願いいたします。
- 委 員 一番知りたいのは、現状の江南市の公共交通体系が非常に脆弱ですと、おかしいですと、それに対して将来的にまちづくりとかそういったものの一環としてもう少し変えていきたいといった方向性があるって、その中の資料として色々なアンケートをやったりとか討論会をやったりということならわかるんですけれども。この資料4のように、もう既に公共交通機関の空白地帯がありませんよというのであれば、そこまでやる必要はなんじゃないかと。しかも言葉の文言なんですけど、交通空白地帯というのに引っかかるので、公共交通空白地帯ということだったらわかるんですけれども、交通空白地帯というのはよく自分ではわからないんですけれども。いずれにしてもそういうところは、例えばいこまいCARなんかでバス停から何百メートルといったいわゆる公共交通空白地帯が埋まっていないような、例えば稲沢市とか一宮市では、そういうところをi-タクシーとかコミュニティタクシーでそこのお客さんをバス停までうまく運ぶ仕組みっていうのは既にできているんですね。江南市は既にいこまいCARというものがあるんだったら、もうそういうところはないという現状であるならば、大きく今の方向性を変える必要性は何もないわけですよね。そういう大きな流れの中で、色々議論したりして、その辺をより使い勝手良くする、もしくは財政の負担をより少ない良い方法を考える、そういう方向でこれから検討していく、そういう方向性によろしいわけですね。
- 事務局 今回委託を受けて調査をした調査会社として発言させていただきますが、市民の方のご意見を聞くと、これ以上財政投入をすべきでないというご意見が9割ぐらい、財政負担をもっとしてサービスを向上すべきというのが1割ぐらい。ですから全体で考えれば今、委員が言われた方向性で良いと思うんですけれども、その意見で江南市がその考え方で進めて良いかどうかというのは一つの意見であって、他のご意見も当然あるので、この場で皆様のご意見をいただいて会議としてどういう方向性がいいだろうかということをして市に対してアドバイスを頂戴したいというのが今回の会議の趣旨だと理解をしております。ですから、委員が言われたように市の今の考え方を述べてくださいといったご質問だったと思うんですけれども、それは、市の職員の立場になれば財政投入したくないという本音はあるのかもしれないんですけれども、それは今の時点で申し上げるべきことではな

いと思いますので、皆さんのご意見をいただいて、市としてどういう立場を取るべきかということをご意見を頂戴して決めていただきたいと思いますというのが趣旨だと思っています。

委員 わかりました。そうしたら何らかの事情で今の現状を大きく変える必要があるんだったら、先ほど言いましたように、まちづくりとか色々な計画があると思いますので、そこの一環としてそういったものと連動して十分議論したうえでお願いしたい。マイナーチェンジならあくまでこの体制で維持していくという方向を理解しているので、そういった方向でお願いしたいと思います。

会長 今、事務局側から問われているのは、資料の1から4に戻るんですけども、江南市の交通の状況というのが、今の状況が良いのかそうじゃないのかという問題発議が出たということであるんですけども、それによって調査のやり方も変わってくるよと、その辺何かお感じのことはありますでしょうか。資料4をみると、たくさん人口のあるところにはカバーしているということがあったり、色々なこまかいCARだけじゃなくて、福祉タクシーというのもやっていて、それをうまく皆さん使い分けてると。ですから高齢者への対応も数字としてはできているんじゃないかなと、そのような資料が提示されていたわけでありまして、ただ後はコストの問題で、たくさんコストをかけても良いんですけど、資料の4でいくと愛知県内でみると真ん中へんだと、良いのか悪いのかわからないような微妙な立場にあるというのが江南市の状況であるんで、じゃあこれでどうなんだと、江南市の状況は。どういう方向へ行ったら良いのかなと、その方向性ですね、そういったものが見えてくると調査の仕方も変わってくるけどねということで、何かお気づきの提案ございましたらご発言いただきたいんですけども、いかがでしょうか。特に地域の代表の方なんか、ご自身が感じていることで構いませんので、何かお感じになったことはありますでしょうか。

委員 今回の意見に私も賛成する部分と賛成しない部分があるんですけど、とりあえずは第1回目のアンケートということで、一回アンケートをとってみてはどうかと思います。それと合わせて前回の1回目の時にも言いましたけど、このアンケートの名鉄バス江南・病院線の利用状況がありますけど、私は今、北部の方に住んでおまして、江南厚生病院からすいとびあ江南に行くバスはいつもガラガラなんですね。だから私は早急にバスの利用を厚生病院で止めて、厚生病院からすいとびあを何かの方法で利用されるか、違う交通手段で検討したらどうかと思いますよ。いつもガラガラ、行事があるときとか土日は乗っておりますけど。このアンケートを早くとってもらって、市税の無駄遣いだとは私はいつも思っているんですよ。空白でしょっちゅう運行しています。乗っているのは本当に見ないぐらいなんですね、平日ですと。だから税金の無駄遣いと私は前々から思っています。だから早急にこれは手を打たないと市民の大切な税金がだいぶ負担が、税金のバスの負担が3千万円ですか、あの負担が莫大だと思いますよ。1時間に1本ぐらいになっていますけど、本当に空でガソリン使って人件

費使って運行しているそのものです。だからあれを早急に一般市民として見直して何か良い方法を皆さんと知恵を出し合って検討していただきたい、そう思います。

会 長 無駄な部分があるんじゃないでしょうかという委員個人のご意見ですね。まずそういったご意見もあったという話でございますけれど、他に何か皆さんからありますでしょうか。

委 員 役所の立場で考えますと、もちろん県民としては、あるいは市民としては税金を納めずに済む方が絶対良いに決まっているので、税金をこれ以上払いたくないというのは誰だって思う、私だって思います。ただ、役所がやることは金儲けではありませんので、どうしてもこの場合でいえば交通弱者という言葉が良いのかわかりませんが、要するに不便な地域に住んでる方に対してどういうふうに役所として手を差し伸べるかという部分については、どうしても採算が取れない部分でもやらなきゃいけない部分が役所としてはあるんじゃないかと。全部採算が取れるのであれば、むしろ民間さんにやってもらえば良いだけの話なものですから、それも考慮のうえで物事を決めていかなきゃいけないのかなど。役所としてはそういうふう考えることも必要だと思います。

会 長 今のお二人の議論は交通政策で必ず出てくる話で、効率性と必要性みたいな話で、必ず対極にある話なんです。ですからそれが江南市あたりではどの辺に今、来ているのかというのはすごく気になるころだなど。

事務局 先程委員から出たご意見を少し補足をさせていただきたいと思ひまして、資料4を見ていただいてよろしいでしょうか。3頁に財政負担の市の負担額の推移の整理をさせていただいております。先ほど江南・病院線で厚生病院からすいとびあ江南の部分ガラガラだと、そんなのはやめた方が良くのご意見が出てたんですけど、平成25年時点で地元のご要望があって江南・病院線からすいとびあ江南まで接続をした方が良くという住民の皆さんからのお声があって、赤字を覚悟してサービスを提供したと伺っています。赤字覚悟で出来ているという事業ですから、そういう意味で25年、26年、27年のこの名鉄バスの補助路線分の負担がこのような形であがってきている。ご要望があってせっかく路線をつくったのに利用されないということであれば、要望があったことに対して使っていないということなので、違うサービスに切り替えるというのは確かにごもっともだと思いますから、その方向性が正しいのであればここでそういった方向性を確認いただいて、この部分、例えば江南病院線の厚生病院まででいったん止めて、そこから先は例えば違うサービスに切り替えるという交通計画に切り替えようという確認をいただければ、そういった交通計画に切り替えるということはできると思います。

委 員 今のご意見ももっともだと思いますけど、アンケートで、14番、15番、16番、17番、これは今言ったようにすいとびあから厚生病院のバス停なんです。だからこのアンケートで利用状況についてある程度の答えというか利用者の人数が出ると思います。それを参考にしてというか、その結果によって検討していただく方法、なくせとは私は言っていないよ。た

だ、何かの形で代替、例えば極端な話ですけどバスをもっと小型にするとか、民間の人に依頼するとかそういう方法もあるんじゃないかなと思います。

会 長 その件はよろしいでしょうかね。他のご意見はございませんでしょうか。  
委 員 アンケートの方をされるということで、実質、調査に対するご質問等とお願いを込めてなんですけど。まずもってはこちらの方を、まだ日にちが決まってないと思うんですけど、何日間かされるのか、あるいは路線は決まっているんだけど時間帯、全ての時間をやるのかというところをお聞かせ願いたいのと、あとアンケートの内容が今日は資料という形で出ているんですけど、結構ボリュームがちょっと多いかなという流れの中で、車内配布で車内回収というのはちょっと時間帯によっては困難なのかなというところが見え隠れしてくる部分がございます。私ども年に1回、OD調査といってお客様からどこからどこまで乗って、定期的なのか現金なのかという調査を必ず年に1回、補助金路線で行うんですけど、それもちょうど朝のラッシュ時なんかというのは非常に至難の業でやっている部分がありますので、その辺のちょっと調整をお願いしたいなと考えております。よろしくお願ひします。

事務局 運転手の安全に関わることなので、ご迷惑がかからない範囲で実施させていただきたいと思ひます。ですから、時間帯につきましては可能な範囲で朝早くから、例えば7か8時あたりから17時、18時ごろまではやらさせていただきますと思ひております。それと調査日数ですけど、少なくとも平日1日、土日祝日1日で2日間以上の設定をさせていただいて調査票をお配りしたいと思ひております。それと車内で回収するというのは物理的に難しいというお話でしたので、その点についても配慮させていただいて、実は返信用の封筒、切手を貼ったような封筒の中に調査票を入れて、あと鉛筆もその中に入れてさせていただいて、それを乗って来られる方にお渡しをしたいと思ひております。降りるまでに時間があれば、そこで書いていただひて降りるときに回収箱を用意しておくので、そこに投函をしていただくという方法を取り、その場でなかなか回答いただけないという方については、その封筒をそのまま持って行っていただければ郵便ポストに投げ込んでいただひて郵送で回収できるという方法で対応したいと思ひますので、そのような形であれば多分ご迷惑かからないんじゃないかなと思ひますので、そのようなやり方で調査の方をさせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

会 長 バスの関係者、タクシーの関係者も皆さんよろしくご協力お願ひいたします。他いかがでしょうか。

委 員 今、バスの話がありましたけど、タクシー、これはいこまいCARについては、運転手さんが配布して、その場で回収しないで郵送で回収することなんですけど、ドライバーさんやるのがいっぱいある中で、もう一つの負担が出てくるということなんですけど、もちろん安全最優先でやっていただくことになろうかと思うんですけど、その辺は事業者さんとの調整ができていいのか、今後するのか。タクシーはその辺対応できるのかという

- ところも含めてコメントいただければと思います。
- 会 長 バスの場合ですと調査員が乗り込むということですね。それでやるわけですが、いこまいCARの場合ですと本当にどこで発生するかわからないという状況なので、タクシー会社、簡単に言えばドライバーにお願いせざるを得ないと、その場合のドライバーの対応ができるかどうかという懸念があるということですが、その辺いかがでしょうか。
- 事務局 運転手さんは料金收受の時間があるので、お金のやり取りをするときにこの調査票にご協力くださいということで渡すだけしていただくことをお願いしたいと思っております。ただ、全てお受け取りいただけるかどうかわからないので、そこは運転に差し支えない範囲で、ご協力いただける範囲でお願いをしたいということでよろしくお願ひしたいと思ひます。当然、交通事業者様とは調整をさせていただいて実施していただくと思ひますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。
- 会 長 タクシー側はどうでしょうか。即答しかねるかと、ちょっと調整という形になろうかと思ひますけれども、少なくともいこまいCARは利用者がおられるので、どこかでこういう調査をやりますよという宣言しておかないといかんのでしょうかね。それが広報になるのかどこになるかわからないんですけれども、いきなりというのはびっくりするかもしれませんので、こういうことがあるよというのが事前に予告できればお客さんが調査票を受け取る時の理解力が上がってくるかなと。今の場合ですと、運転手さんがどうぞと言ってもお客さんから嫌と言われればそれでお終いなので、その辺は両方の調整があるなと感じましたので、時間が間に合うかどうかわかりませんが、何らか予告みたいなことを出来れば良いなと思ひています。
- 事務局 今、市で考えられる間に合いそうなものとしましては、やはりホームページでの広報というのが良いのかなと思ひておひます。
- 会 長 利用者の方はどうしても高齢者が多いから、なかなかホームページでは弱いと感じるので、そこをどうやって周知するのか気になるなと、何かうまいこと考えていただきたいということです。
- 事務局 少し時間がございますので、引き続き検討させていただきながら広報等につきましても合わせて検討させていただきますので、どうぞよろしくお願ひします。
- 会 長 よろしくお願ひします。他いかがでしょうか。これは協議事項ですので、要はまだ微調整もあるということですし、実際、調査のやり方についても微調整があるということですが、資料5-1にありますように、このような項目を聞きますと、それをもって今後の会議の運営の有効な資料としていきますという、そういうことに関しての協議事項ということでございます。議決をしなくてはいけないんですけど、まだ何かご意見ございますでしょうか。
- 委 員 このアンケートをやっていた時に、やはり大学生の方たちにもアンケートをとっていただきたいので、夏季休暇時期を除外というところで大学生の大学が始まる頃の後というようなところでやっていたいただきたいなと

ということと、アンケートの中で少し確認をさせていただきたいんですけど、例えば問2の項目の中に「大変満足」、「やや満足」云々がありまして、この「大変満足」という言葉が良いのか、いこまいCARの方は「満足」という言い方になっているので、そこの違いがどのようなお考えであるのか。それから例えば問1のところの頻度の関係で、例えば1カ月に1日程度というような項目はいらぬのかなというのが確認として聞かせていただきたいと思います。

事務局 大学生のお休みのタイミングは、いつまで休みなのかわからないので確認させていただいて注意したいと思います。それと「大変満足」の表現なんですけど、いこまいCARの表現が「満足」、「やや満足」となっていますので、こちらの表現に統一させていただきたいと思います。二つ表現があるのは集計に問題があると思いますので、表現については合わさせていただきたいと思います。頻度の件についてはご指摘の通り修正させていただきます。

会 長 ありがとうございます。修正のうでやっていくということでございます。他でございますでしょうか。

委 員 細かいことで申し訳ないんですが、自分でこれを答えるつもりで読んでみると疑問に思うことが二つあってですね、最初の前文のところの最後で「往復でバスをご利用される方は、重複する内容がありますが、ご協力をお願いいたします。」と書いてありますが、重複する内容がどのことを言っているのかピンと来なかったのと、もう一つは重複するという言葉から考えると、同じ人が同じ日に2回とか何回か乗る場合のことを言っているんだったら内容ではないし、もし2回、3回乗ることについてその時はどうするのか、同じものを2通、3通もらったらどうするのかということが書いてないので、どうなのかなということ。それと問1(1)の「利用されるバス停を教えてください。」と書いてあるのが、そのとき乗った時の乗車駅、降車駅を書くのか、普段乗っているところを書くのか、あるいはその両方を書くのであれば帰りが違うところだったら4か所書くこともあるのか、その辺の本日利用されるバス停を教えてくださいなのか、今回なのか普段なのかを書いた方が良いのかなと思います。

会 長 ありがとうございます。その辺いかがでしょうか。往復の場合どうやって調査するのかという懸念があるので、そこはどうでしょうか。

事務局 ご指摘のとおり、行きで使って、また違うところで2回目で別のところでバスを使われるというケースがあるかもしれないので、その人が2回バスを使われることを指摘されると混乱するというご指摘がありました。今回あくまでも直接利用されている方に手渡しをしたいと思いましたが、シンプルに考えるために、今回利用されるバス停を教えてくださいという聞き方が、一番間違いが少ないんじゃないかと思いますので、ご指摘のありました利用されるバス停等について、今回の利用についてということをお前提に、不適切な表現を訂正させていただいて対応したいと思います。その内容につきましては、できれば事務局に一任させていただいて進めさせていただければと思います。よろしくお願ひします。

- 会 長 それでよろしいでしょうか。では次の委員お願いします。
- 委 員 今回のアンケートの中身ですけれど、満足度というのがありますが、このアンケートをとるのは利用者する方に対してアンケートをとるわけですから、満足度はほとんど満足という状況の方が多いと思うんですけど。アンケートの項目についてももう少し聞き方を変えた方が良くないかと思うんですけどね。
- 会 長 調査項目で「満足」という答えしか返って来ないんじゃないかという一つの懸念があるんですけど、その辺どうなんでしょうかね。
- 事務局 磯部先生の方が経験値が高いので、磯部先生の方が回答が適切なのかも知れないんですけど、我が社でも実はこのような調査を別の自治体で同様のことをさせていただいた経験がございます。このアンケートをすると、実は満足が半数、不満が半数ぐらいのご意見で、仕方なしに使っている方で不満だというご意見も実は半分ぐらいありますので、満足の方だけが使っているということではないと思っています。実際の他の自治体での回答は、不満だという声もかなりございました。実際に不満だという具体的な細かな内容につきましては、満足度の下に自由回答のスペースを用意させていただいております。ここの中で、個別具体的にダイヤの本数を増やすべきだとか自分の家の近くに停留所をつくってくださいとか、朝早くから夜遅くまでやってくださいといった具体的なご意見については自由記述の中でご回答いただけますので、委員ご指摘の部分についてはそちらで回答を得られると思っております。補足いただけるのであれば先生にお願いしたいと思っております。
- 会 長 おそらく回答者が本当に満足してるんだったら満足と回答するんでしょうね。実際使っている人が本当に満足しているかということ、そうは思っていないで、仕方なしに乗っていると、本当はこうなったら良いな、ああなったら良いなという人もいるんですけど、これしかないで仕方なく乗っていると。そういった人は割としっかりと不満は言います。不満項目を我々が見つけて改善に役立つということです。真剣に使っている人ほど不満は大きいです。別のアンケートで満足か不満足かどちらでもないという質問を出します、どちらでもないと答える人は真剣に考えていないという傾向もあったりしまして、満足と答える人も不満と答える人も関心度の高い人だとアンケートを集計するときは見えています。今回のバスも全員が全員満足してると思えませんので、仕方なく乗っていると、もっと改善して欲しいという意見が欲しいなということだと思っておりますので、やってみないとわかりませんが、たくさんいるだろうと想定できると思っております。項目がたくさんあれば良いんでしょうけど、紙の枠とかいうことで重要なものだけ残したと思っておりますので、少ない情報かもしれませんが色々な情報を得ていこうと思っております。少し微調整があるという話がありましたし、調査方法につきましては日時も調査方法もしっかりと検討してトラブルの無いように準備をしてやっていくという前提でございますけれども、この利用者に対するアンケート調査を実施することについて、賛成の方は挙手を求めます。いかがでしょうか。

(委員全員が挙手)

会 長ありがとうございます。皆さん全員の方が挙手していただきましたので、この件は承認させていただきます。

#### ○江南市地域公共交通を語る会（意見交換会）について

会 長 もう一つの協議事項がございます。江南市地域公共交通を語る会、意見交換会についてであります。これについてタイトルは意見交換についてとありますが、開催日程等は既に事務局で手配済みとのことですので、意見交換会の具体的な進め方についてご協議いただきたいと思っております。それでは、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 資料6に基づき説明。

会 長 ありがとうございます。ただいま事務局から説明がありましたけど、「江南市地域公共交通を語る会について」、皆様からのご意見いただきたいと思えます。今の説明のとおり日にちと場所は決めてあるということございまして、おおよその内容もこういうふうにするというたたき台も出てきているということでございますけれども、何か皆様の方からご意見ございましたらいかがでしょうか。

委 員 これは何を協議するというか、どの部分、内容ですか。協議より報告の方かなという感じがしないでもないんですけど。

会 長 協議よりも、ただ単にやりますよというだけの話なのではということですけど、何を聞きたいかという話ですけども。それを説明、何をここで委員から発言を求めたいかということですね。

事務局 やり方、前回も少しお示ししましたけれども、全体を通しまして何かご意見をいただければということがまず大前提でございますし、具体的にここをこうしたら良いとかそういった部分も頂ければありがたいということで今回協議事項に加えさせていただきましたのでよろしく願いいたします。

会 長 ということでございますが、何か。話の内容、地域の方にフリートークでもものが出てくるということも一つの答えでしょうけど、何を問いかけて何をそこから返してもらおうかという話でしょうね。ということは我々の責任もあるんですけど、市としては何を悩んでいるか、この地域公共交通会議が何を悩んでいるかをぶつけて、それを返してもらおうということが一番大事なんでしょうね。ですから先ほどの江南市の現状がどうなっているかという形で、当日は行政からの説明はされるんですよ。今、江南市がどうなっているかという状況を説明して、意見を聞くわけですね。どんな内容を説明される予定ですか。それが要するに市民への問いかけになってくるわけですから。我々の地域公共交通会議が絡んでいるんだとしたら、地域公共交通会議が悩んでいるから市民にぶつけますよというそういう形になると思うので、それもちよっとご説明ください。

事務局 今、プロジェクターの資料をつくっている途中でございますけれども、いままいC A Rの実際の使い方に関し、本日の資料にもござい

す公共交通のカバーの状況であったりとか、先程から出ておりますような資料4の交通空白についての問題であったり、他市町の状況との比較、これも本日の資料でございます。あとは、先ほどの平成25年度アンケートの結果も少し載せていこうかなと考えておまして、最後に皆さんの意見を聞いていくような形で45分間程度お話をさせていただく、意見交換をさせていただく時間を見ておりますが、先ほど説明もしておりますが、ファシリテーターとして入るといって一方的な要望にはならないような形にしたいと考えております。

会 長 ということは今回の資料4が中心になるという理解でよろしいでしょうか。

事務局 概ねそういった形になるものと考えております。

会 長 資料4で論点の確認というところで、現状があるんですけども、これを良いとするか悪いとするかなかなか我々もわからないというところがあると思うんです。それについてぶつけて答えというか何らかの反応をもらいたい、そういうような流れになると思います。それについて何か、もう少しご意見ございましたら。

委 員 実は今の江南市の制度というのは、我々はその時の委員ではないんですけど、前の委員の方々が色々議論して市の方と協議してこういう形を作り上げた。これを全く否定するための会だったらおかしいと思うんですけども、その発展上のこれから先のそこに対する問題点とか色々なことを指摘されたり変更したりすることであればどんどんやれば良いだろうと、感じがしますので、先ほど磯部先生も言われたように資料4をベースにして、それに対する問題点とか色々なものを修正、加筆するというのであれば私はどんどんやるべきと考えております。

会 長 ありがとうございます。他よろしいでしょうか。では市としてはこれも協議事項でありますので、このようにやっていくということについて賛成の方は挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。

(委員全員が挙手)

会 長 ありがとうございます。

#### ○その他

会 長 江南市地域公共交通会議の会長あてに別紙のとおり要望書が提出されておりますので、委員の皆様にもお目通しいただきたいと思っております。もし何かご発言あれば受け付けますけれど、7月25日付の資料でございますけれども、何かお感じのことありましたらご発言お願いしたいのですがいかがでしょうか。

早急にこの意見書に対して答えを出すものではありませんので、こういう意見もあるということを組み込んで、理解して考えていくというスタンスで良いかなと思っております。よろしいでしょうか。ではこういうご意見があるということも認識したうえで、色々なことを進めていくということで、やっていきたいと思っております。ありがとうございます。

以上で、予定しておりました報告事項及び協議事項は、すべて終了しま

- した。事務局から、何か連絡事項等はございますか。
- 事務局 本日の会議におきまして、「利用者に対するアンケート調査方法について」、「江南市地域公共交通を語る会（意見交換会）について」、ご承認をいただきましたので、「アンケート調査」及び「意見交換会」を進めさせていただきますので、よろしくお願ひします。特に「利用者アンケート」につきましては、バス事業者、タクシー事業者の皆様にご協力をお願ひします。
- 事務局 詳細につきましては、後日、改めてご依頼させていただきますのでよろしくお願ひいたします。
- 事務局 今後の会議日程について説明
- 会 長 意見等もないようですので、これをもちまして、本日の江南市地域公共交通会議を閉会させていただきます。慎重なご審議を賜り、誠にありがとうございました。